

## 富士山噴火を想定した除灰装置の開発について

JR東日本東京支社では、富士山噴火の可能性を見据え、首都圏の鉄道機能をいかに維持していくかの検討を進めております。

火山灰がレール上に数ミリ積ると、列車の在線検知ができず、運行停止となることも予想されます。

今回検討の一環として、富士山噴火後の降灰によりレールの上に積もった灰を早期に除去し、列車の運行の安定を図ることを目的に除灰装置を開発し、配備することとしました。

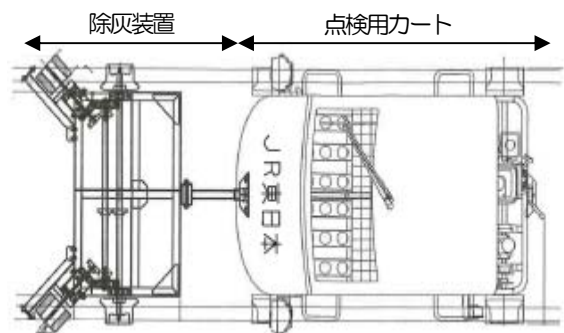
### 1. 除灰装置の概要

○装置の最前方にブラシを取り付け、ブラシを回転させることでレール面上の灰を除去します。

○現在配備している線路設備点検用のカートへ容易に連結し、脱着できる装置です。

○ブラシは車輪と連動して回転するため、動力源を必要としません。

※現在、特許出願中です。



### 2. 除灰装置の配備について

配備台数 : 22台 (在来線用20台・新幹線用2台)  
配備箇所 : 東京支社管内の保線技術センター 計7箇所  
配備時期 : 2016年3月中